

老年看護学実習

専門分野

授業科目	老年施設実習	講師	氏名	兼本 恵美	開講時期	単位・時間
			所属	専任教員		
			実務経験	臨床看護師		
実習目的	老年期の特徴をふまえ、さまざまな健康レベルにある高齢者の健康上の問題、施設で生活する高齢者の生活の場を理解し、機能低下を持つ高齢者に応じた日常生活の援助、看護を实践できる能力を養う。					
到達目標						
知識・技術	1. 高齢者の特徴（感覚器官、認知力の低下等）に合わせたコミュニケーションがとれる。 2. 高齢者の思いを受け止め、尊重した態度がとれる。 3. 高齢者の状態に合わせた援助を安全・安楽に実施することができる。 4. 残存機能を生かした日常生活援助を実施できる。 5. アクティビティケアやレクリエーションの必要性を理解し、実践できる。					
思考・判断・表現	1. 施設で療養生活を送る高齢者の身体的・精神的・社会的特徴を考察できる。 2. 加齢の変化が日常生活に与える影響を考察できる。 3. 行った援助を日々振り返り、自己の課題を明確にし、次の援助へ繋げることができる。 4. 施設における看護師の役割を考察できる。 5. 高齢者の生活を支える職種とその役割、また多職種連携における看護師の役割を考察できる。 6. 高齢者の強みを捉え、自己の老年観を明確にできる。					
主体的学習態度	1. 事前準備を計画的に行い、実習に臨むことができる。 2. 実習に必要な知識を事前に学習し、また実習中も疑問に思ったこと等を実習指導者や教員に自ら質問し、指導を受け学習の追加・修正することができる。 3. 実習に必要な看護技術をアツルームを利用し、練習することができる。 4. カンファレンスで相手の意見を受け入れながら活発に意見交換をすることができる。					
実習期間及び実習時間	1. 実習期間：7.5日間 1) 介護老人保健施設：4日間 2) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）：2日間 3) 地域密着型サービス 認知症対応型グループホーム：1日間 4) 学内実習：0.5日間 2. 実習時間：原則として9:00～14:30（休憩60分）					
実習内容及び実習方法	(実習内容) 施設に入所する対象とコミュニケーションを図り、個々の状態に合わせた日常生活援助を実施する。 (実習方法) 1) 介護老人保健施設 日常生活を妨げる生活機能の問題や機能回復に向けた情報収集を行い看護援助を考える。 2) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 高齢者の生活の場の特徴を踏まえ、高齢者の健康を保持増進させる日常生活の援助を指導者と共に考え、実施する。 3) 地域密着型サービス 認知症対応型グループホーム 認知症高齢者とコミュニケーションを図り、1日の生活リズムを知り、親しみのある良好な関係づくりを考える。 4) 学内実習 各施設での学びを共有する。また、実習を終えてからの自己の老年観を明確にする。					
評価方法及び評価基準	1. 「評価規程」及び「実習に関する規程」に基づいて行う。 2. 老年施設実習の実習状況を基に、評価表により評価する。 介護老人保健施設：60% 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）：30% 地域密着型サービス 認知症対応型グループホーム：10% <span style="float: right;">合計100%</span>					
テキスト・参考文献	ナーシング・グラフィカ 高齢者の健康と障害 (メディカ出版) ナーシング・グラフィカ 高齢者看護の实践 (メディカ出版)					
実習施設	【介護老人保健施設】 1. 社会医療法人水光会 介護老人保健施設 水光苑 2. 社会福祉法人南十字福祉会 介護老人保健施設 ナーシング・ケア宗像 3. 医療法人光風会 介護老人保健施設 宗像アコール 4. 医療法人翌檜会 介護老人保健施設 ローズガーデンM.K. どちらか一方で4日間の実習を行う 【介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）】 1. 社会福祉法人北筑前福祉会 特別養護老人ホーム 津屋崎園／第二津屋崎園 2. 社会福祉法人南十字福祉会 特別養護老人ホーム 筑前頭慈園 地域密着型介護老人福祉施設 けんじえん ユニット型介護老人福祉施設 さくら 3. 社会福祉法人敬愛会 特別養護老人ホーム みどり苑／みどり苑宗像 どちらか一方で2日間の実習を行う 【地域密着型サービス】 1. 社会福祉法人水光福祉会 グループホーム和らぎ 1日間					
留意事項						